



九州・沖縄の 国有林

林野庁 九州森林管理局



2025年4月16日更新

はじめに

九州森林管理局は、九州・沖縄8県に所在する森林の約2割（約53万ha）に相当する国有林の管理経営を担っています。

九州の国有林は、九州中央山地から雲仙、阿蘇、九重、霧島、桜島といった火山地帯、対馬や五島、屋久島、奄美、南西諸島といった離島まで、南北約1,200kmの広範囲に分布しており、多様な森林生態系を有しています。

また、九州は温暖多雨な環境下のため、スギやヒノキの生育に恵まれおり、日田や小国、球磨、飫肥などの歴史的にも有名な林業地が发展してきた地域でもあります。

九州森林管理局では、国有林を国民共通の財産「国民の森林^{もり}」として管理経営し、国民の多様な要請と期待に応えるべく、全国に先駆けた取組を実行しています。

(ヒノキ)

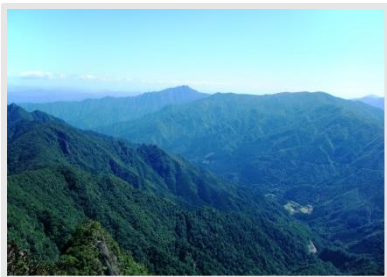
目次と管内図

国有林の紹介	… 2
国有林の管理経営	… 3
安全・安心な暮らしの実現	… 5
自然環境・生物多様性の保全	… 7
持続的な林業の確立	… 9
木材の安定供給・利用の推進	… 11
森林とのふれあいの推進	… 13
地域との連携	… 15
災害からの復旧・復興	… 17
組織図・各機関の紹介	… 19
局の沿革・できごと	… 21
おでかけ情報	… 22

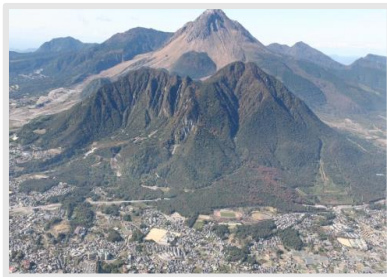


国有林の紹介

写真でみる国有林



脊梁山 (宮崎北部署)



活火山 (長崎署)



島嶼 (屋久島署)



人工林 (宮崎南部署)



落葉広葉樹林 (大分署)



照葉樹林 (宮崎署)



亜熱帯林 (沖縄署)



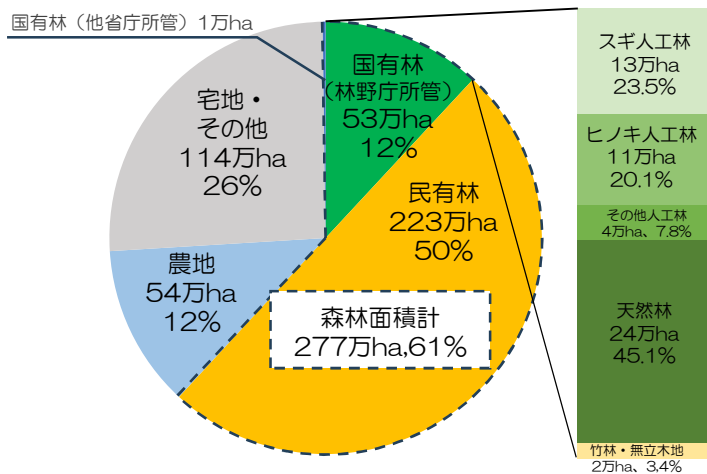
高山植生 (屋久島署)



溪畔林 (熊本署)

数字でみる国有林

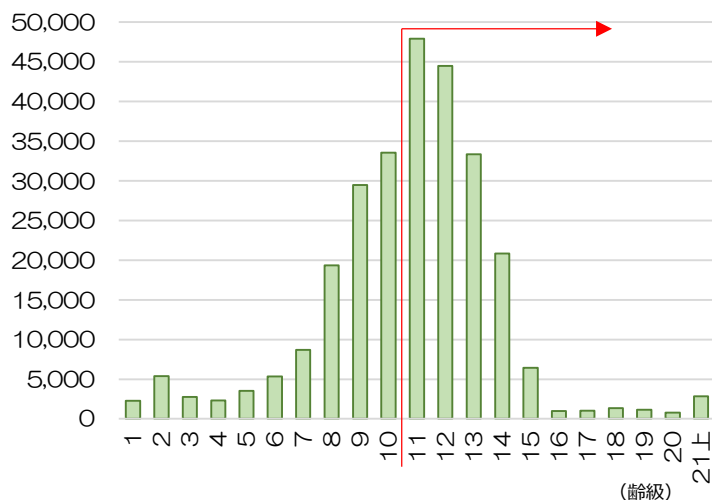
九州に占める国有林の割合



- ・九州の国有林は森林面積の約2割を占める
- ・国有林の人工林と天然林の割合はほぼ半々

出典：森林面積は「森林資源の現況」林野庁（令和4年（2022）年3月31日時点）
農地面積は「令和5年耕地及び作付面積統計」農林水産省
宅地・その他面積は「全国都道府県市町村別面積調」国土地理院（令和5年（2023）年10月1日時点）の各県面積の合計445万haから森林面積、農地面積を除いた面積

九州国有林の人工林の齢級構成



- ・50年生を超える人工林が約60%

出典：森林資源の現況(令和4（2022）年3月31日現在)

(注) 齢級は5年を一括りとした表現で、1齢級は1～5年生、2齢級は6～10年生の林分を表します。

国有林の管理経営

～ 多様で健全な森林づくり ～

管理経営の基本方針

国有林野は、国土の約2割*、森林の約3割*を占めており、国土の保全や水源の涵養等の公益的機能の維持増進や林産物の供給、地域産業の振興、住民の福祉への寄与などを目標に管理経営を行っています。

近年では、これらに加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、花粉発生源対策の加速化、森林環境教育、森林とのふれあいや国民参加の森林づくりなど、国民の森林に対する要請は多様化しており、その多様な要請に応えるため、「国有林野の管理経営に関する基本計画」等に基づいて、以下の取組を進めています。

(スギ)

■ 公益重視の管理経営の一層の推進

- ・ 安全・安心な暮らしの実現 (p.5～6)
- ・ 自然環境・生物多様性の保全 (p.7～8)



垂熱帯林（宇検村：鹿児島署）

■ 森林・林業施策全体の推進への貢献

- ・ 持続的な林業の確立 (p.9～10)
- ・ 木材の安定供給・利用の推進 (p.11～12)



間伐作業（嬉野市：佐賀署）

もり

■ 国民の森林としての管理経営

- ・ 森林とのふれあいの推進 (p.13～14)
- ・ 地域との連携 (p.15～16)



森林環境教育（甲佐町：熊本署）

重視すべき機能に応じた管理経営

重視すべき森林の機能に応じ、国有林野を①山地災害防止タイプ、②自然維持タイプ、③森林空間利用タイプ、④快適環境形成タイプ、⑤水源涵養タイプの5タイプに区分し、区分ごとの管理経営の考え方に即し、必要な施業を推進しています。

令和7（2025）年4月1日現在

区分の名称 (タイプ)	面積 (ha) 割合 (%)	機能類型区分の考え方	管理経営の考え方
①山地災害防止タイプ	112,279 21%	山地災害の防止及び土壌保全機能を発揮する森林	根や表土の保全、下層植生が発達した森林の維持
土砂流出・崩壊防備エリア	(108,890 21%)	土砂の流出、崩壊等による山地災害による人・施設の被害の防備機能を発揮する森林	根系と下層植生の発達が良好で常に落葉層を保持した森林を維持し、必要に応じて治山施設等の整備を行う
気象害防備エリア	(3,389 0.6%)	風害、飛砂、潮害等の気象害による住居、産業活動に係る環境の悪化の防備機能を発揮する森林	遮蔽能力と諸害に対する抵抗性が高い樹種によって構成される森林の維持
②自然維持タイプ	88,236 17%	原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能を発揮する森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持
③森林空間利用タイプ	14,826 3%	保健、レクリエーション、文化機能を発揮する森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成
④快適環境形成タイプ	1,085 0.2%	快適な環境を形成する機能を発揮する森林	防音又は大気浄化に有効な森林の維持
⑤水源涵養タイプ	313,387 59%	水源涵養機能を発揮する森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮

(ブナ)

①山地災害防止タイプ
土砂流出・崩壊防備エリア



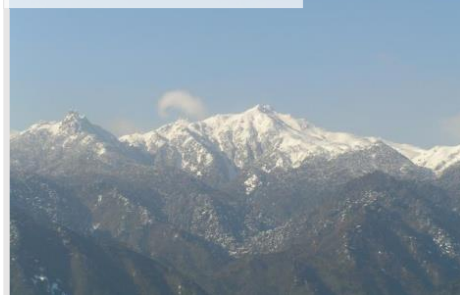
由布岳（由布市：大分署）

①山地災害防止タイプ
気象害防備エリア



三里松原（岡垣町：福岡署）

②自然維持タイプ



宮之浦岳（屋久島町：屋久島署）

③森林空間利用タイプ



菅生の滝（北九州市：福岡署）

④快適環境形成タイプ



妙見地区（八代市：熊本南部署）

⑤水源涵養タイプ



中尾地区水源林（西都市：西都児湯署）

安全・安心な暮らしの実現

国有林は、森林の公益的機能の維持・増進を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保護するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成などを通じて、安全で安心な暮らしの実現に貢献しています。

(アカマツ)

保安林

森林の公益的機能の発揮が特に要請される森林を「保安林」に指定して、立木の伐採や土地の形質変更などを規制し、公益的機能の維持・増進を図っています。

保安林は、指定目的に応じて17種類あります。そのうち、九州の国有林には13種類*あり、約47万ha（国有林の88%）を指定しています。

令和7（2025）年4月1日現在

保安林の種類	面積（万ha）	指定の目的
水源かん養保安林	43.1	洪水・渇水の防止、各種用水の確保
土砂流出防備保安林	2.4	林地の表面浸食・崩壊による土砂の流出を防止
土砂崩壊防備保安林	0.1	林地崩壊の発生を防止
飛砂防備保安林	0.1	海岸等からの飛砂を防止し、土地利用・生活環境を保護
防風保安林	0.1	風速を緩和して風害を防止
水害防備保安林	0.0	河川の氾濫を抑制し、水害を防止・軽減
潮害防備保安林	0.2	津波や高潮の被害軽減、塩害の防止
干害防備保安林	0.5	局所的な用水源の保護
落石防止保安林	0.0	落石による危険を防止
魚つき保安林	0.2	魚類の生息環境の保護
航行目標保安林	0.1	漁船等の航行の目標として保護
保健保安林	3.3	保健・休養の場の提供、公衆の保健・衛生に貢献
風致保安林	0.0	名所・旧跡等の景観の保存
計（延面積）	50.0	兼種指定による重複の除いた実面積；46.8万ha

* 九州の国有林に無い保安林は、防雪保安林、防霧保安林、なだれ防止保安林、防火保安林の4種類



水源を守り、水を蓄え、洪水や渇水を防ぎます。
十曽池（伊佐市：北薩署）



魚類の生息環境や繁殖環境を守ります。
（対馬市：長崎署）



市街地や農地を潮害や塩害から守ります。
虹の松原（唐津市：佐賀署）



レクリエーションや憩いの場を提供します。
猪八重溪谷（日南市：宮崎南部署）

治山事業

安全で安心して暮らせる国土づくり、豊かな水を育む森林づくりを目標に、集中豪雨や台風等による山地災害等を軽減・防止するため、治山施設の設置や公益的機能が低下した森林の整備等を行う治山事業を実施しています。

また、自然環境への配慮やコスト縮減を図りながら、木材を利用した治山施設の施工も進めています。



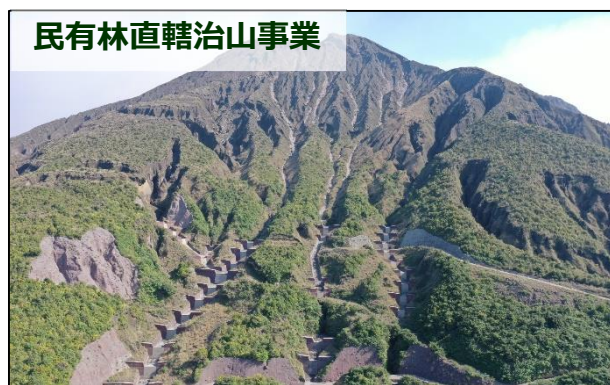
土砂の移動を抑え、植栽した樹木がしっかりと根を張れるよう、崩壊した斜面の安定を図ります。（芦北町：局）



治山ダムを設置し、下流への土砂流出を抑止・調整するとともに、林地の安定性を高めます。（島原市：長崎署）



津波の減勢や塩害・飛砂等の軽減のため、海岸防災林の整備を進めています。（岡垣町：福岡署）

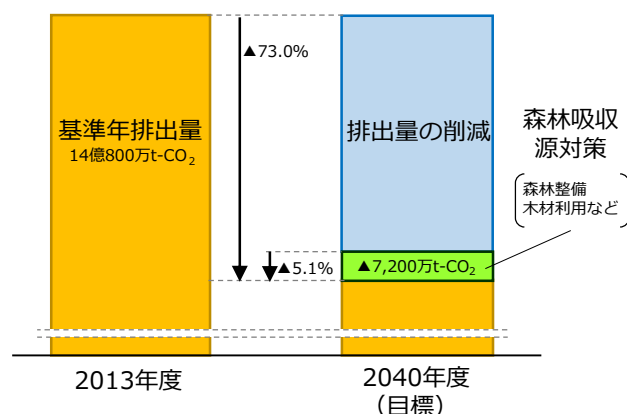


事業規模が特に大きい場合等であって、県からの要請があった時には、民有林においても治山事業を実施しています。（鹿児島市（桜島）：鹿児島署）

地球温暖化対策と森林

地球温暖化は、集中豪雨による大規模災害を発生させるおそれがあるなど、人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題の一つであり、国際的な対策が求められています。我が国は、令和22（2040）年度の温室効果ガスの排出削減目標を平成25（2013）年度比73%減としており、そのうち、間伐等の森林整備や木材利用（森林吸収源対策）により、5.1%以上の吸収量を確保し、削減目標の達成を目指しています。

■ 温室効果ガス削減目標のイメージ図



※地球温暖化対策計画（令和7年2月18日閣議決定）に記載の新たな算定方法を適用した場合に求められる数値

自然環境・生物多様性の保全

九州の国有林の中で特に優れた自然環境を有する地域については、森林生態系の保全や希少な野生生物の保護のため、国有林独自の制度として「保護林」や「緑の回廊」を設定し、その保護・管理に努めています。また、希少野生生物の保護のため、関係機関と連携した自然環境の保全も進めています。

(スダジイ)

保護林・緑の回廊

令和7（2025）年4月1日現在

種 類	目 的	箇所数	面積 (ha)
森林生態系保護地域	我が国の気候帯・森林帯を代表するような原生的な天然林を保護 祖母山・傾山・大崩山周辺、綾、奄美群島、稲尾岳周辺、屋久島、やんばる、西表島	7	53,887
生物群集保護林	地域固有の生物群集を有する森林を保護 代表例：九州中央山地、霧島山	11	17,262
希少個体群保護林	希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護 代表例：御岳ツシマヤマネコ、三ツ岩オビスギ遺伝資源	69	4,083
保護林計		87	75,232
緑の回廊	保護林を相互に連結し、野生生物の生育・生息地を結ぶ移動経路の確保や個体群交流を促進：大隅半島、綾川上流	2	3,664

西表島森林生態系保護地域



(竹富町：沖縄署)

霧島山生物群集保護林



(霧島市ほか：鹿児島署)

綾川上流 緑の回廊



(綾町ほか：宮崎署)

希少野生生物の保護

絶滅の恐れがある希少野生生物については、モニタリング等により実態を把握するとともに、好適な生息環境の維持・整備や食餌植物の保護・増殖など、種の保存を図るための事業を行っています。



ツシマヤマネコ
(対馬市：長崎署)



ヤンバルクイナ
(国頭村ほか：沖縄署)

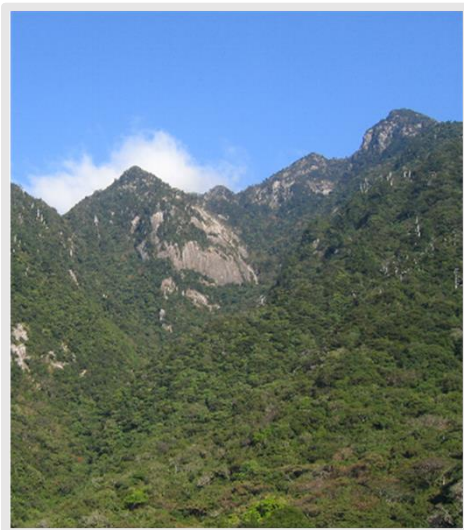


ゴイシツバメシジミ
(水上村ほか：熊本南部署)

■ 希少野生生物保護管理対策事業を行っている希少野生生物種

分類	種名
ほ乳類	ツシマヤマネコ, イリオモテヤマネコ, アミノクロウサギ, オナホウネミ, ケナヘミ
鳥類	オーストンオアサガウ, オオラツガミ, アミヤマシギ, カムリワシ, ノグチゲラ, ヤンバルクイナ
昆虫類	ゴイシツバメシジミ, ヤンバルヒメカマキリ

世界自然遺産



国割岳西部の植生垂直分布
(屋久島町：屋久島署)

屋久島世界自然遺産

屋久島は、九州本土最南端から60kmの海上に位置し、標高約2,000mに迫る山岳などを有していることから、海岸植生から山頂付近のササ草地に及ぶ植生帯垂直分布の生態系と樹齢1,000年を超えるヤクスギ原生林がつくりだす景観において、顕著で普遍的価値を有すると認められ平成5（1993）年に世界自然遺産に登録されました。登録地域のほとんどが「森林生態系保護地域」となっています。

関係行政機関(環境省、林野庁、文化庁、鹿児島県及び屋久島町)が連携・協力し、科学委員会の助言を得ながら、遺産地域の適切な保全に取り組んでいます。

令和7（2025）年4月1日現在

屋久島世界自然遺産登録区域	面積（ha）	割合（％）
国有林	10,260	95％
うち森林生態系保護地域	10,236	95％
民有林	487	5％
計	10,747	



左上：アマミノクロウサギ 右上：ヤンバルクイナ
下：西表島マングローブ林

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産

遺産地域は、アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコなど多くの固有種や絶滅危惧種が生息する、世界的に見ても極めて貴重な地域であり、面積の約70％を国有林野が占めています。

将来にわたり遺産の価値を保全できるよう、科学委員会の有識者の助言を得ながら、環境省、鹿児島県、沖縄県及び地元自治体等関係機関と連携して取組を行っています。

遺産地域	42,698ha	うち国有林	28,891ha
------	----------	-------	----------

関係県・市町村	鹿児島県、沖縄県、12市町村(奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、徳之島町、天城町、伊仙町、国頭村、大宜味村、東村、竹富町)
---------	---

ユネスコエコパーク



綾の照葉樹林（綾町ほか：宮崎署）

ユネスコは自然と人間社会の共生に取り組む地域を「生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）」に登録しており、九州管内では「綾」、「屋久島・口之永良部島」、「祖母・傾・大崩」の3箇所が登録されています。

宮崎県綾町では、核心地域として原生的な照葉樹林を保全管理するとともに、緩衝地域では関係機関と連携しながら、人工林を照葉樹林に復元する取組を進めています（p.15参照）。

持続的な林業の確立

国有林野事業では、間伐等の適切な森林施業を進めるとともに、林産物を供給するほか、鳥獣被害対策、林業技術の開発などを通じて、持続的な林業の確立に向けた取組を進めています。

(ケヤキ)

森林整備事業

森林の多面的機能が高度に発揮されるよう、間伐等を推進するとともに、複層林化や長伐期化等を通じて多様で健全な森林の整備を実施しています。また、これらの取組を効率的に進めるため、林道等の路網整備も進めています。



複層林化

木材を収穫するとともに、多様な成長段階にある森林を配置し、公益的機能の維持・向上を図ります。
(宮崎市：宮崎署)



間伐

密度調整の伐採を行い、残存木の成長を促進させます。また、伐採した材は搬出し、利用します。
(佐賀市・唐津市：佐賀署)



森林資源の循環利用



主伐（皆伐）

木材を全て収穫し、森林の若返りを図ります。
(薩摩川内市：北薩署)



路網整備

森林整備、木材搬出のために必要な道を整備します。
(太良町：佐賀署)



造林

次世代の森林を造成します。
(都城市：都城支署)

鳥獣被害対策

国有林内においてシカによる被害防止や被害を受けた森林の回復に向けシカの捕獲や新植地の周囲等に植生保護柵を設置するなどの取組を進めています。

くくりわなによる捕獲



(都城支署)

市町村・猟友会との協定による捕獲



(大分署)

植生保護柵



(熊本南部署)

花粉発生源対策の取組

花粉の少ない苗木等の生産拡大の後押し

花粉の少ない苗木を確保するため生産拡大の後押しを進めています。

具体的には、スギさし木用の優良な種穂（花粉の少ない苗木等）を確保するため、林業種苗法に沿った採取源指定に向けた取組を順次進めています。また、花粉の少ない苗木等を安定的に確保する必要があることから苗木生産事業者との需給協定を締結し、生産拡大の後押しを始めています。



熊本南部森林管理署管内に設定された
採穂用の育種母樹林（熊本県告示第833号）

林業の低コスト化

持続的な林業を確立するためには、林業経営全般のコストの低減が不可欠となります。九州森林管理局では伐採から造林までを一体的に実施する「一貫作業システム」や「植栽本数の低減」、「下刈りの省力化」に取り組んでいます。

■一貫作業システム （一般的な作業の流れ）



ハーベスタによる伐採・造材



グラップルによる機械地捨
（林況に応じて、省略する場合もある）

+

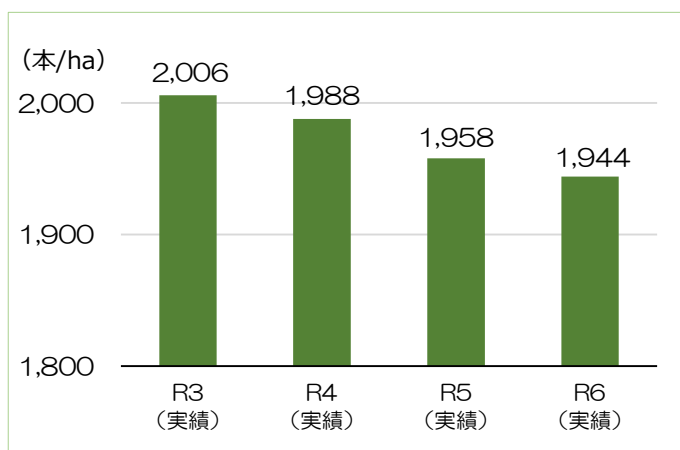


フォワードによる苗木運搬

一貫して実施

■植栽本数の低減

従来より（3,000本）より少ない植栽本数で、軽労化・省力化・コスト低減に取り組む。



■筋刈りによる下刈りの省力化

下刈りの労力を低減するため、植栽木以外の全てをまんべんなく刈る全刈から、植栽に合わせた筋刈りを実施することにより、下刈りの省力化、軽労化、コスト低減に取り組む。

	R4 実績	R5 実績	R6 実績
筋刈の割合	11%	16%	31%
下刈り回数	4.3回	4.1回	3.9回



筋刈り実施後

木材の安定供給・利用の推進

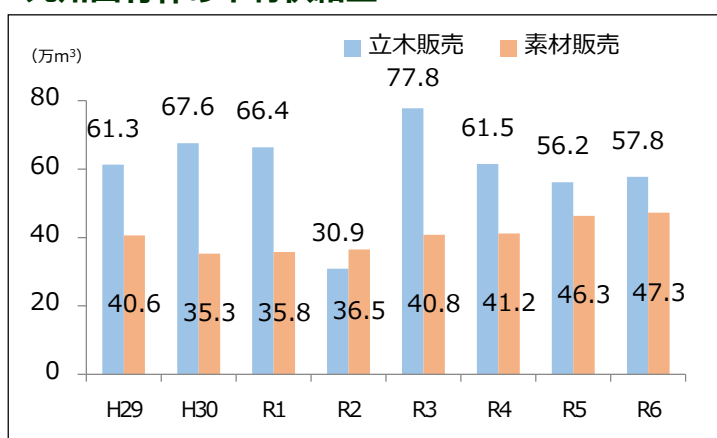
九州では人工林を主体に森林資源が充実する中で、国産材需要が拡大しており、その需要に応えるため木材の安定供給に努めています。また、民有林と連携しながら、地域のシンボルとなる木造公共建築物への資材供給にも取り組んでいます。

(ヤマザクラ)

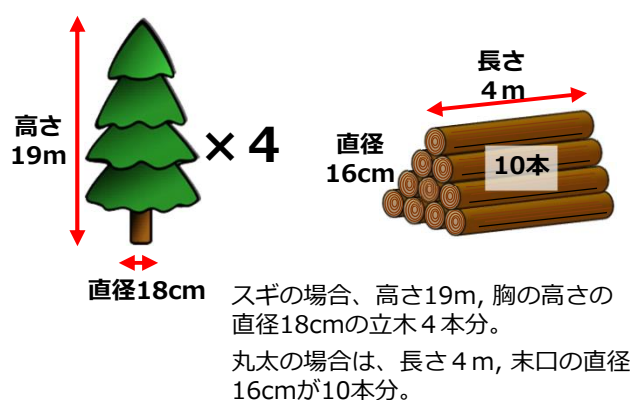
充実する森林資源

九州は温暖な気候を背景に森林の成長が旺盛です。九州の国有林の森林蓄積は9,000万 m^3 を超え、戦後造成された人工林を主体に、森林資源の多くが利用可能な段階に達しています。そのため、木材を安定供給しながら、森林資源の循環利用を促す必要があります。

■九州国有林の木材供給量*1



■木の1 m^3 はどのくらい？



国有林材の安定供給

製材工場や合板工場等の木材需要者と協定を締結し、協定で定めた数量を安定的に供給する「システム販売」に積極的に取り組んでいます。九州の国有林から供給される木材は、九州全体の1割強*2を占め、地域産業への貢献や生活資材の供給などの役割を果たしています。

高性能林業機械による 素材生産



丸太の販売



製材工場
(用途：柱・梁・土台等)



合板工場
(用途：床・壁・土木資材等)



チップ工場
(用途：製紙・発電燃料等)

*1 立木販売の数量は立木ベース、素材販売の数量は丸太ベースのため、単純な比較、加算はできない

*2 九州森林管理局による推計

民有林と連携した木材供給

地域連携の一環として、民有林所有者と森林整備推進協定を締結し、森林共同施業団地を設定しています。この団地において、一体的かつ効率的な路網の整備や面的・量的にまとまった木材の生産により、木材の安定供給に取り組んでいます。

■管内の森林整備推進協定締結箇所 令和6（2024）年4月1日現在

県名	箇所数	面積（ha）	地域（市町村名）
福岡	1	1,480	朝倉市、嘉麻市
佐賀	1	2,561	神崎市
長崎	2	26,759	五島市、対馬市
熊本	3	26,019	五木村、大津町、菊池市、熊本市、相良村、八代市、山江村
大分	4	4,996	宇佐市、佐伯市、中津市、日田市
宮崎	7	18,368	綾町、川南町、木城町、椎葉村、日南市、延岡市、三股町、宮崎市、西都市
鹿児島	7	63,423	始良市、鹿児島市、鹿屋市、肝付町、霧島市、出水市、日置市、南九州市、屋久島町



協定地域での間伐作業（日南市：宮崎南部署）

新たな木材需要への対応

令和3（2021）年10月に「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が改正され、公共建築物だけではなく民間のオフィスビルや店舗の木造化、木質化を後押ししていくこととなり、今後、民間建築物においても木材利用が更に進んでいくことが期待されます。

また、九州では、CLT等の新たな建築部材の開発もいち早く取り組まれています。

これら木材需要の拡大に対応するため、木材の安定供給に努めるとともに、当局でも積極的に木材を利用しています。



九州管内の木造建築事例



庁舎の木造・木質化に取り組んでいます。（菊池市：熊本署）



九州管内のCLT建築事例（左）とスギCLTパネル（右）

森林とのふれあいの推進

優れた景観や豊かな自然環境を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツなどに適した森林を「レクリエーションの森」に指定し、多くの市民に森林とふれあう機会を提供しています。その中でも特に魅力的な自然景観を持つレクリエーションの森を「日本美しの森 お薦め国有林」とし、全国で93箇所、九州で12箇所を選定しています。また、子どもたちが森林でさまざまな体験や学習を行えるよう環境教育を推進しています。

(カエデ)

レクリエーションの森（24箇所）

令和7（2025）年4月1日現在

種類	特 徴	箇所数
自然休養林	特に風景が美しく、保健休養に適している森林です。自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなど多様な森林レクリエーションを楽しむことができます。	6
自然観察教育林	自然科学教育や自然観察に適している森林です。自然探勝を楽しみながら植生や野鳥などの観察や森林の働きを学ぶことができます。	1
野外スポーツ地域	雄大な自然の中で、スキーなどの野外スポーツを楽しむことができます。	1
風景林	名所や湖沼、渓谷等が一体となって景勝地を形成し、展望台等から眺望できる美しい森林です。	8
風致探勝林	山岳や湖沼、史跡・名勝等が一体となった美しい自然景観の探勝を楽しめる森林で、遊歩道等を利用して、さまざまな木々や四季折々の自然が織りなす彩りを楽しむことができます。	8

■「日本美しの森 お薦め国有林」 一覧（12箇所）

名 称	該当署等	所在地
北九州自然休養林	福 岡	北九州市、直方市、福智町（福岡県）
若杉山風致探勝林	福 岡	篠栗町、須恵町（福岡県）
虹の松原風致探勝林	佐 賀	唐津市（佐賀県）
たしろぼる 田代原風致探勝林	長 崎	雲仙市（長崎県）
有明山風景林	長 崎	対馬市（長崎県）
くまもと自然休養林	熊 本	熊本市、玉名市、玉東町、菊池市、阿蘇市（熊本県）
木原山風景林	熊 本	熊本市、宇土市（熊本県）
むこうざかやま 向坂山野外スポーツ 地域（五ヶ瀬ハイラ ンドスキー場）	宮崎北部	五ヶ瀬町（宮崎県）
宮崎自然休養林	宮 崎	宮崎市、日南市（宮崎県）
いのへえ 猪八重の滝風景林	宮崎南部	日南市（宮崎県）
屋久島自然休養林	屋久島	屋久島町（鹿児島県）
いりおもて 西表自然休養林	沖 縄	竹富町（沖縄県）

くまもと自然休養林



菊池渓谷（菊池市：熊本署）

霧島自然観察教育林



御池（高原町：都城支署）

向坂山野外スポーツ地域



五ヶ瀬ハイランドスキー場
（五ヶ瀬町：宮崎北部署）

千尋の滝風景林



千尋の滝（屋久島町：屋久島署）

玄海風致探勝林



さつき松原（宗像市：福岡署）

令和7（2025）年4月1日現在

森林環境教育

国有林の豊かな森林環境の中で、子どもたちが、さまざまな体験や学習を行えるよう、「遊々の森」を設定しています。また、それらフィールドを活用して、森林管理署の職員による子どもたちを対象とした林業体験なども実施しています。

■「遊々の森」の設定状況

令和6（2024）年4月1日現在

県名	箇所数	面積（ha）	締結先
福岡	1	5	町教育委員会
佐賀	2	8	高校、団体
長崎	1	11	団体
熊本	4	112	市教育委員会、市町村、小学校、団体
大分	1	16	団体
宮崎	5	150	市町村、団体
鹿児島	4	193	市教育委員会、市町村



「遊々の森 奥雲仙牧場の森」での植樹体験
（雲仙市：長崎署）

また、森林に対する理解を深めていただくことを目的に、多様な森林の役割や重要性を絵画で表現していただく「森林のアートギャラリー」を開催するほか、教職員を対象とした「森の塾」や、間伐体験学習の開催など、地域の関係機関と連携し、森林や木材に親しんでもらう機会を提供しています。



中学生がアートパネルを作成した「森林(もり)のアートギャラリー」の展示（熊本市：九州森林管理局）



除伐作業体験の様子（唐津市：佐賀署）



「未来の源・遊々の森」での駒打ち体験の様子
（御船町：熊本署）



安房中学校での森林教室の様子（屋久島町：屋久島署、屋久島森林生態系保全センター）

地域との連携

開かれた「国民の森林」としての管理経営や国民視点に立った行政を一層推進するため、木の文化を支える森づくり、多様な主体と連携した森林整備を進めるとともに、広く市民の皆様の意見を聴くよう努めています。

(ミズナラ)

木の文化を支える森づくり

伝統文化の継承に重要な役割を果たす地域の木材資源の確保、育成のため、「木の文化を支える森づくり」を進めています。

首里城（沖縄県）の復元・修復に使用されるイヌマキ、オキナワウラジロガシ等の育成に、国有林のフィールドを提供しています*。

*将来的に想定される首里城修復等に備えて平成20（2008）年11月から開始されたもの。



イヌマキへの施肥作業（国頭村：沖縄署）

多様な主体と連携した森林整備

■法人の森林

企業や団体などが社会貢献活動、環境貢献活動の一環としておこなう森林の整備や保全活動の場を提供しています。

■ふれあいの森

「森林づくりに参加したい」、「緑にふれあいたい」というボランティア団体などに活動の場を提供しています。

■漁民の森

森・川・里・海の一体的な環境保全のため、漁業関係者やボランティア団体などによる森林づくりの場を提供しています。



「法人の森林」における歩道点検
(阿蘇市：熊本署)

綾の照葉樹林プロジェクト（綾プロ）

九州森林
管理局

宮崎県

綾町

(公財)
日本自然
保護協会

(一社)
てるはの
森の会

【連携会議】

- ・行動計画・中長期目標の設定
- ・各主体の取組の企画・調整
- ・各主体で協働した取組の形成等

日本最大級の原生的な照葉樹林を保護し、周辺に存在する二次林や人工林を照葉樹林に復元するため、綾プロエリアにおいて、左記の連携者と協定を結び、市民ボランティアや地元小中学校の協力も得ながら協働して取り組んでいます。



市民ボランティアによる復元作業



綾小・中学校でのどんぐり苗
づくり

人材の育成・技術支援

九州各県と連携しながら、ICT等の最新技術を活用し、地域の林業成長産業化に資する構想を作成できる人材や森づくりに関する技術的指導を行う人材である森林総合監理士*（フォレスター）の育成を積極的に進めています。

また、国有林のフィールドを活用して、新たな育林技術や路網作設等の現地検討会を開催するなど、地域の人材育成に貢献しています。



ICT研修（人吉市）

民有林関係者との意見交換

九州の森林関係行政機関で組織する「九州林政連絡協議会」や国有林野が所在する市町村長で組織する「国有林野等所在市町村長有志協議会」などの場を活用し、民有林関係者との意見交換に努めています。



令和5年度国有林野等所在市町村長有志連絡協議会
（熊本市）

森林・林業に関する研修への参加受入

九州森林管理局で実施する3つの研修において、市町村職員の参加を受け入れ、市町村等の森林・林業行政に対する技術的な支援を実施しています。

対象の研修	森林の見方研修（基礎研修A） 森林の育成研修（基礎研修B） 無人航空機活用研修
-------	---

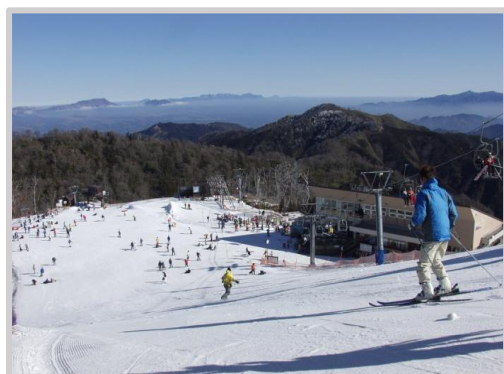


4名の市村職員を受け入れた
R5ドローン研修（熊本市）

国有林野の貸付け

地域産業の振興、住民の福祉の向上等に貢献するため、地方公共団体や地元住民に対して国有林野の貸付けを行っています。

貸付けは、農耕・採草放牧地や道路敷、電気通信事業用地、ダム・堰堤用地など多岐にわたっており、九州全体で約1万3千ha（令和7年（2025）年3月31日現在）の貸付けを行っています。



スキー場用地の提供（五ヶ瀬町：宮崎北部署）

* 森林法に基づく国家資格。森林・林業に関する専門的かつ高度な知識、技術、現場経験を有し、長期的・広域的な視点に立って地域の森林づくりの全体像を示すとともに、市町村等へ技術的支援をおこなう専門家です。

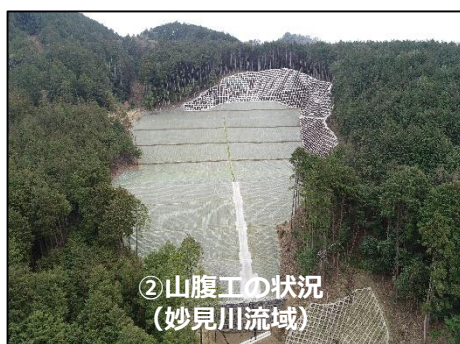
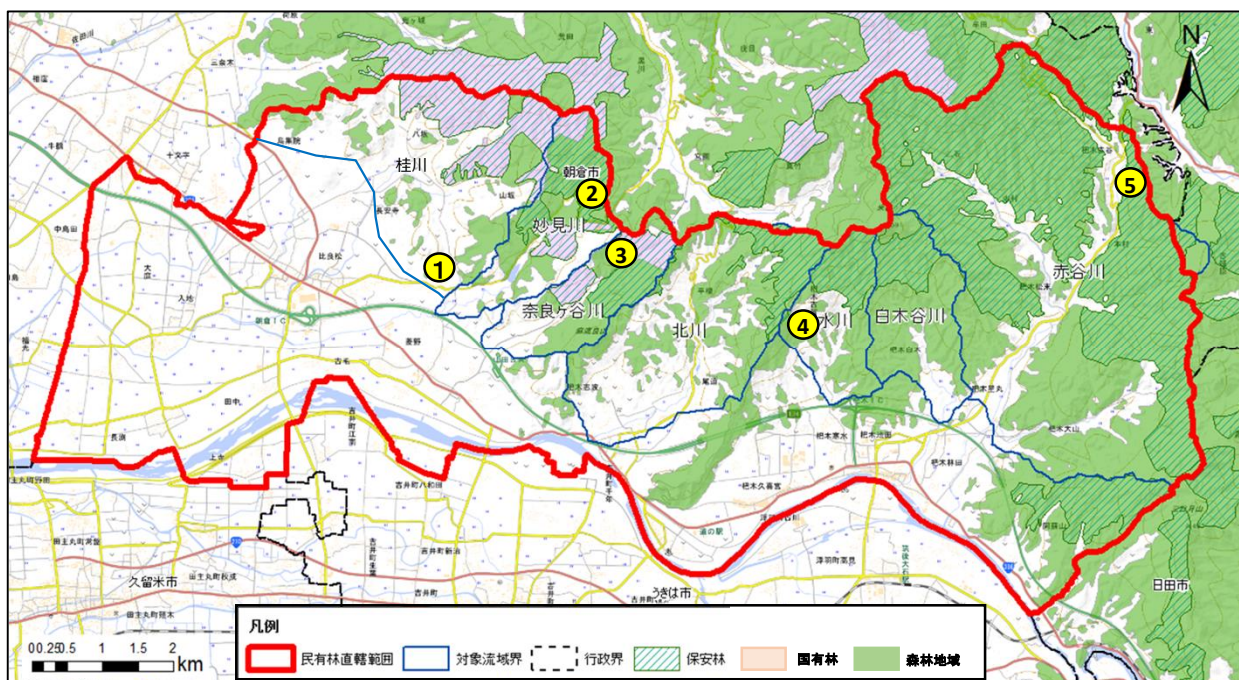
災害からの復旧・復興

平成29年九州北部豪雨及び令和2年7月豪雨では、林地荒廃や治山施設被害が多数発生しました。このため国有林に加え、民有林の被災箇所についても県や市町村と連携して、これら被害箇所の早期復旧・復興に取り組んでいます。

(コウヤマキ)

九州北部豪雨からの早期復旧に向けて

福岡県知事からの要請を受けて被害が甚大だった福岡県朝倉市の民有林において、平成30（2018）年度から「朝倉地区民有林直轄治山事業」に着手し、令和5年度末時点で、溪間工98基・山腹工12.4haの計画に対し、溪間工55基・山腹工8.61ha完成しました。



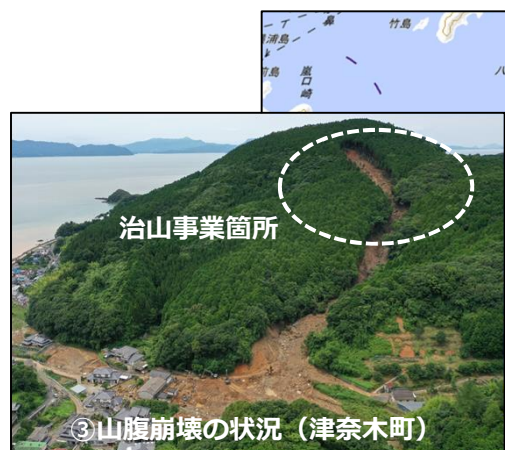
九州北部豪雨の被害状況（福岡県）

被害状況	箇所数	被害額	うち国有林
林地	1,016箇所	278億円	151箇所 12.4億円
治山施設	2箇所	0.03億円	1箇所 0.02億円
林道	1,012箇所	41.1億円	58箇所 5.7億円
木材加工施設等	7件	1.9億円	—
計	2,037箇所・件	321.0億円	210箇所 18.12億円

令和2年7月豪雨からの早期復旧

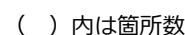
令和2年7月豪雨では、熊本県人吉・球磨地方を中心に山腹崩壊や治山施設の被害が多数発生し、流れ出た土砂や流木により家屋や農地等に甚大な被害が発生しました。

熊本県知事からの要請を受けて被害が甚大だった熊本県水俣市・芦北町・津奈木町の民有林のうち緊急を要する36箇所を対象に、令和2（2020）年度から「芦北地区特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業」に着手し、令和5年9月に全ての緊急的な治山対策復旧工事が完了しました。



令和2年7月豪雨の被害状況（熊本県）

被害状況	箇所数	被害額	うち国有林
林地	807	354.3億円	19箇所 22.0億円
治山施設	92	19.5億円	—
林道	3,520	130億円	115箇所 5.3億円
木材加工施設等	38	11.6億円	—
計	4,457箇所・件	515.4億円	134箇所 27.3億円

19

各森林管理署・支署

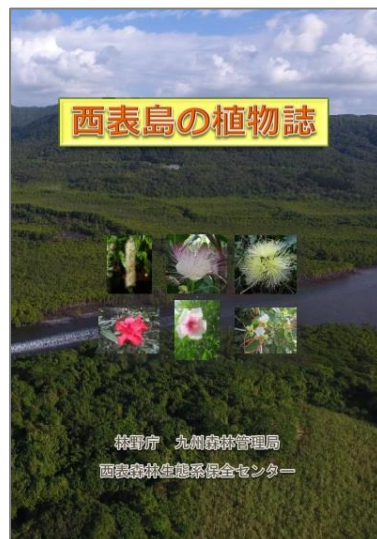
国有林野の管理経営を担うより現場に近い組織として、地域関係者と密接に連携しながら業務を進めています。九州管内には、流域ごとに16の森林管理署と1つの支署が設置されています。



庁舎の木造・木質化を通じて、木材利用の推進・普及に努めています。（日田市；大分西部署）

西表森林生態系保全センター

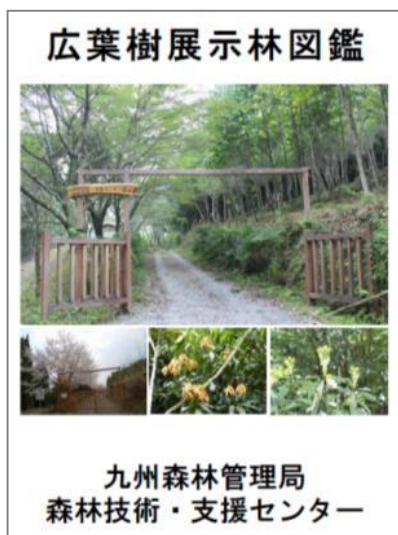
西表島の国有林の約90%（2万2千ha）を森林生態系保護地域（保護林）に指定しています。この地域を中心に、森林生態系の保全や野生動植物の保護・増殖、森林環境教育に取り組んでいます。



【取組例】西表島に生息する植物の保護や森林環境教育に活用してもらうため、植物誌を作成し、島内の小学校に配布しています。

森林技術・支援センター

国有林を主なフィールドとし、試験研究機関や地域林業関係者と連携を図り、技術開発や実証試験を行うとともに、その成果の普及や森林総合監理士等の人材育成の企画・運営を行っています。



【取組例】有用広葉樹の人工林施業に必要なデータを収集するため、83種の広葉樹展示林を設置しており、その成果をHPで図鑑として公表しています。

屋久島森林生態系保全センター

屋久島の国有林の約40%（1万5千ha）を森林生態系保護地域（保護林）に指定しており、このうち約1万haが世界自然遺産に登録されています。屋久島には、極めて貴重な森林が多く、森林環境の適切な保全と利用を図るための活動を行っています。



【取組例】屋久島に生息する植物の保護や森林環境教育に活用してもらうため、植物の図鑑を作成し、島内の図書館・学校に配布しています。

局の沿革・できごと

地域とともに歩んだ130年

- 1886 ● **林区署体制の開始** 福岡、大分、宮崎、鹿児島県の4箇所に大林区署を設置
- 1888 ● ・新たに熊本大林区署を設置
- 1889 ● ・福岡、熊本、鹿児島県の3大林区署に再編
- 1897 ● **「保安林」制度を創設** →p.5参照
- 1902 ● ・熊本大林区署を現所在地（熊本市京町本丁）に移転
- 1904 ● ・福岡大林区署を廃止
- 1915 ● **「保護林」制度を創設** →p.7参照
- 1924 ● **営林局・営林署体制の開始** 熊本と鹿児島県の大林区署を合併し、熊本営林局に改称
- 1966 ● ・熊本営林局庁舎（現庁舎）落成
- 1972 ● ・沖縄本土復帰により、沖縄営林署を新設
- 1973 ● **「レクリエーションの森」制度を創設** →p.13参照
- ・九州最後の森林鉄道が廃線
- 1976 ● **桜島で民有林直轄治山事業を開始** →p.6参照
- 1991 ● **雲仙普賢岳で噴火災害** 雲仙・普賢岳で治山事業を開始
- 1993 ● **屋久島が日本初の世界自然遺産に登録** →p.8参照
- 1994 ● **「システム販売」を開始** →p.11参照
- 1995 ● ・森林技術センター、屋久島森林環境保全センターを設置
- 1999 ● **森林管理局・森林管理署体制の開始** 熊本営林局を九州森林管理局に、営林署を16森林管理署と1支署に再編
- 2004 ● ・西表森林環境ふれあいセンターを設置
- 2005 ● **「綾の照葉樹林プロジェクト」の開始** →p.15参照
- 2009 ● **森林共同施業団地を設定**（熊本県五木地域が九州初） →p.12参照
- 2012 ● **綾地域がユネスコエコパークに登録** →p.8参照
- 2013 ● ・国有林野事業（特別会計）の一般会計化
・森林総合監理士（フォレスター）試験を開始
- 2014 ● **屋久島・口之永良部島がユネスコエコパークに登録** →p.8参照
- ・木材自給率が26年ぶりに30%台
- 2016 ● **熊本地震が発生** 阿蘇地区で特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業を開始
- 2017 ● **祖母・傾・大崩がユネスコエコパークに登録** →p.8参照
- **九州北部豪雨が発生** 朝倉地区で民有林直轄治山事業を開始 →p.17参照
- 2020 ● **令和2年7月豪雨が発生**
- ・芦北地区で特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業（水俣市・芦北町・津奈木町）を開始 →p.18参照
- ・阿蘇地区での特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業が完了
・木材自給率が48年ぶりに40%台
- 2021 ● **奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産に登録** →p.8参照
- ・最初の樹木採取区を球磨川森林計画区内に指定
- 2023 ● ・芦北地区特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業が完了
・屋久島世界自然遺産登録30周年



薪炭材の供給



旧庁舎



地域の雇用を創出
（木材の伐採、苗木生産など）



先人が植栽した海岸林
（吹上浜海岸）



森林鉄道は木材の搬出のみならず、地域の脚としても活躍



おでかけ情報

九州の国有林は、世界自然遺産や国立公園に指定されるなど、優れた森林生態系を有し、四季折々を楽しむことができます。興味がある方やご不明な点がある方はお近くの森林管理署等に、是非お尋ねください。



【福岡】

菅生の滝



さつき松原



立花山の大クス



難所ヶ滝



【佐賀】

虹の松原



竜門峡と青螺山



黒髪山の奇岩群



【長崎】

雲仙普賢岳



仁田峠のミヤマキリシマ



龍良山とヤマザクラ



御岳の紅葉



【熊本】

金峰山



菊池溪谷



白鳥山の樹氷



五家荘の紅葉



【大分】

夏の久住山



震動の滝



大船山の紅葉



大崩山



【宮崎】

綾の照葉樹林



猪八重溪谷



白紫池と霧島連山



尾鈴山の白滝



【鹿児島】

猿ヶ城溪谷



岸良海岸



桜島



屋久島のヤマザクラ



【奄美・沖縄】

奄美の森



やんばるの森



西表島の亜熱帯林



マングローフ林



林野庁 九州森林管理局

ホームページ

: <https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/index.html>

Eメール（代表）

: ky_kikaku@maff.go.jp

